

平成26年11月27日

広島大学大学院文学研究科 附属内海文化研究施設  
第31回 季例会・公開講演会  
～ 砂防学の観点から見た宮島 ～

広島大学大学院文学研究科附属内海文化研究施設では、第31回「季例会・公開講演会」を下記のとおり開催します。

今回は、本学大学院総合科学研究科の海堀正博教授が砂防学の観点から宮島をご紹介致します。

記

【日時】平成26年12月8日（月）13：30～15：30

【場所】広島大学東広島キャンパス 文学研究科 大会議室

【講師】広島大学大学院 総合科学研究科

教授 海堀 正博（かいぼり まさひろ）氏

【演題】砂防学の観点から見た宮島

【参加費】無料

【申込み】不要

【申込み・お問合せ先】

広島大学大学院文学研究科 本多研究室

TEL：082-424-6639

E-mail：honda@hiroshima-u.ac.jp



広島大学文学研究科付属 内海文化研究施設

# 第31回 季例会・公開講演会

## 砂防学の観点から見た宮島

日時：平成26年12月8日（月）

13時30分～15時30分

無料

場所：文学研究科（文学部）大会議室

講師：広島大学大学院

総合科学研究科教授 かいぼりまさひろ  
**海堀 正博 氏**

【概要】 広島には花崗岩類地質の地域が広範囲に認められる。宮島も全島が花崗岩類の地域にあたり、その風化プロセスの多くの段階を直接見てそのまま体感し理解することができる。巨岩を抱いた山の風景、また、溪流沿いの景観は植生と調和して四季折々に美しく、巖島神社の周辺だけでなく、多くの人々に親しまれている。一方で、大雨や強風など自然の猛威にさらされた姿もまた、たくさんのかたちを教えてくれる。

今回は、砂防学の観点から宮島を紹介してみたい。